

通常の学級における包摂力のある好事例

【キーワード】	ルール化と習得、集団づくりと個別対応
【学校、学年】	小学校
	【 Ⅰ 】年
【状況、様子 等】	<p>○学級の状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学にあたって、通常の学級か特別支援学級かを悩んで、通常の学級でスタートした児童もいた。(軽度な知的発達遅れ、集団が苦手など)</li> <li>・個別対応が必要な児童が複数名いる中で、支援策を模索しながらスタートした。</li> </ul>
【対応・工夫】 支援、 合理的配慮、 基礎的環境整備、 学級経営、 支援体制 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅰ学年では「スタートカリキュラム」を組んでおり、その期間に棚の使い方、提出物の出し方、休み時間の過ごし方など、細かいルールを丁寧に伝えた。その時に、見ながら確認できるような場所の写真や手順方法をカード化しておき、始めは黒板に貼っておくようにした。児童には予告をして、一定期間が経ったら、カードを外すようにした。(基礎的環境整備)</li> <li>・なかなか覚えられない児童に対しては、カードを小さく印刷して机に貼っておいたり、チェックシートを作成してその内容を確認できるようにしたりした。(合理的配慮)</li> <li>・学習時は、その時間にすることをホワイトボードに記入して黒板に掲示した。児童が学習の見通しをもって取り組めるように、終わりを伝えてから取り組むようにした。(学習支援)</li> <li>・度々指示すること(「静かにする」「話を聞く」「姿勢よく座る」など)は、イラストをうちわに貼るなどして、すぐに提示できるようにした。(指導の工夫)</li> <li>・集団と個のバランスを意識した。集団に働きかけて児童同士が声をかけあったり、励ましたりできるように環境をつくり、それでも難しい児童に対しては個別に支援した。(支援体制)</li> <li>・うまくいくこと、いかないことがあるが、「うまくいくことを続けよう」という意識で取り組んだ。(学級経営)</li> </ul>
【結果、変容 等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童同士で教え合う姿が見られるようになった。</li> <li>・ルールを児童が理解できるように示し、継続して取り組むことで、どの児童が、どこでつまづいているのかが明確になった。そのことで、何を支援すればよいかも判断しやすくなった。</li> </ul>